



19号
2018年11月1日(木)
西原東中学校進路担当

入試説明会へのご参加ありがとうございました！！

10月18日(木)に行われた「入試説明会」に、162名の保護者の参加がありました。お忙しい中、参加くださり、ありがとうございました。説明会や資料の中でわからないことがありましたら、いつでも担任、進路担当にご相談ください。今後お互いに連携を取り、子ども達自身が希望する進路を実現できるようサポートしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

【11月の主な進路関係日程】

日	曜日	学校行事	進路関係	Count Down
12	月	学年会	第1回校内推薦判定会議(関係職員) 住民票謄本提出(全員)(~30日) ※マイナンバーなし ※続柄記載 ※11/12以降に発行されたもの	114
13	火	アイアイ学習		113
15	木	アイアイ学習		111
20	火	2学期中間テスト(英・数・理)	高等特別支援学校入学願書受付(~21日)	106
21	水	2学期中間テスト(国・社)		105
26	月	1学年代休	第2回校内推薦判定会議(関係職員)	100
28	水	教育相談③ web学力調査(2年)	沖縄カトリック推薦入試申込(~29日)	98
30	金	教育相談⑤	住民票謄本提出締切	96

住民票謄本の提出をお願いします (続柄記載されているもの、マイナンバーなし)

入試手続きの書類作成で、正確な住所や氏名の確認の際に使用します。また、校区がある普通科の高校への提出書類となります。例年、住民票抄本や戸籍票謄本を間違えてとってきたり、続柄記載やマイナンバーなどの記載ミスで再提出をお願いする生徒がいます。お間違えのないようご確認ください。提出書類はミスがあっても再提出になってもまにあうよう、「早め」をこころがけ、「締めきり厳守」でお願いします。

卒業生がおくる応援メッセージ

10月5日（木）西原東中学校出身の高校1年生から高校2年生12名が中学校にきて「先輩と語る進路学習会」が行われる予定でしたが、台風のため中止になりました。話しの内容を打ち合わせしたり、パワーポイントを作成してくれたり、先輩方がとても頑張ってくれていただけに残念です。そこで「受検の体験談」「高校の様子」についてあずかった原稿を進路だよりで紹介していきます。

那覇国際高校（普通科1年）古見 優希 先輩

Q1 高校、学科を決めた理由。いつ頃決めたか。親と意見はどうだったか。

→A 勉強に対する意識が高いと思ったから。開邦高校と悩んだけど、願書提出ぎりぎりになって決めた。親は賛成だった。

Q2 勉強法。受検を乗り切るために頑張ったことは何か。勉強が辛い時は、どのようにしたか。

→A 模試を活用する。どの科目が弱いのか、どの単元が弱いのかはそろそろ明確にわかってきているはず。穴を埋める感じで取り組む。息抜きも大切。

Q3 高校生活の様子。今頑張っていること。通学方法、学科紹介、学校行事や部活動の紹介。

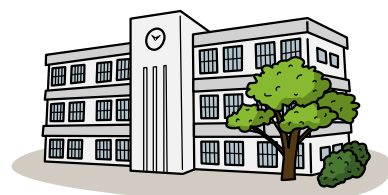
→A 那覇国際高校だけでなく、開邦高校、首里高校、那覇高校も7：30から授業が始まる。那覇国際高校には「バス→モノレール」で通学。学科は普通科8クラス（320名）、国際科1クラス（40名）、行事や部活動はほぼ他校と同じ。

Q4 まだ進学先が決まってない生徒へのアドバイス

→A 僕自身も決めるのは遅かったけど、なんとかなった。それなりに内申や学力が確保できていてどちらにも受かる状態なら、そんなに焦らなくてもいいと思う。急いで適当に決めないことが大切。

Q5 進学先が決まった後、どのように過ごせばよいかアドバイス

→A 進学先の高校についてはしっかり調べる。高校の先生は「知っているこの高校に決めたんでしょ。」と、知っている当然という感じ。学力が不足していると思うなら、今からしっかり頑張れ！



Q6 今だから言えること、やっておけばよかったこと、やってよかったこと、中学生時代に不安に思っていたこと、疑問に思っていたこと、悩んでいたこと、入学する前のイメージと違っていたこと、そのほかに伝えたいこと。

→A 受検本番は「人との勝負」だけど、それまでは自分との勝負。勉強する科目も時間も自分で決めるから。高校受検が終わっても、高校でも勉強は待っている。勉強嫌いににならない程度に、適度に自分を追い込みつつ、楽しみながら頑張る！

